

シリーズ

# 揖斐川最上流部に広がるブナの天然林

三周ヶ岳ブナ生物群集保護林

## 設定目的

三周ヶ岳(さんしゅうがたけ)の周辺には、ブナを主体とした広葉樹の原生的な天然林が広がっています。

これらの希少なブナの群落を有する森林の保護・管理を一体的に行っています。

## 地況・林況

当保護林は、岐阜・福井県境に近い三周ヶ岳の周辺及び同山の北東方面に広がっており、揖斐川最上流部の岩肌が露出している尾根部と沢部が入り組んだ、急峻な地形が見られます。

日本海側気候の影響を強く受け、年間降水量は約二、八〇〇ミリメートル、岐阜県内でも多雨地域にあたります。

林内には、ブナなど落葉高木の老木上に着生する希少種のヤシヤビシヤク(ユキノシタ科の落葉低木)も生育しています。

所在地  
岐阜県 揖斐郡 揖斐川町



ヤシヤビシヤク

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。  
国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612